

理研シンポジウム：第20回 分析・解析技術と化学の最先端

開催日時： 2019年12月11日（水） 12:55-17:30

場 所：国立研究開発法人理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール

主 催：国立研究開発法人理化学研究所（環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット）

協 賛：日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会

Frontiers on Chemistry and Analytical Technology (XX)

Wednesday Dec. 11, 2019 12:55-17:30

Suzuki Umetaro Hall, RIKEN

Contact: RIKEN CSRS, Technology Platform Division, Molecular Structure Characterization Unit

(Tel. 048-467-9361)

新しい重要な機能を持つ化合物の発見と創成が化学の進展のドライビングフォースであるが、より高度な新しい分析技術、解析技術の開発と応用も化学の最先端には必須である。本シンポジウムでは、最新の機器分析技術、化学と関連分野のトピックスとそこで活用されている分析・解析手法について、開発に携る研究者とそれらを効率的に利用している研究者に講演していただき、活発な討論を行う予定である。

12:55-13:00

趣旨説明

越野 広雪（理研 CSRS）

13:00-13:40

質量分析による修飾核酸のキャラクタリゼーション

中山 洋（理研 CSRS）

13:40-14:20

Native 質量分析によるタンパク質複合体の高次構造解析

七種 和美（産総研・物質計測）

14:20-15:00

固体 NMR によるフッ化物イオン伝導体の構造とダイナミクスの研究

村上 美和（京大 SACI）

休憩（15:00-15:30）

15:30-16:10

第一原理シミュレーションとマテリアルズ・インフォマティクスによる新材料設計

中嶋 隆人 (理研 R-CCS)

16:10-16:50

LC-NMR法の基礎と応用

赤木 謙一 (医薬基盤・健康・栄養研)

16:50-17:30

化学合成に基づいた天然有機化合物の構造決定

大石 徹 (九大院理)

17:50- 意見交換会 (広沢クラブ)

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット
越野広雪

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

Tel.: 048-467-9361 ; Fax.: 048-462-1640

e-mail: koshino@riken.jp

[参加申し込み]

氏名, 所属, 住所, 電話番号, 電子メールアドレス, 出席人数, 意見交換会

参加の有無 (有料 4,000 円、学生 2,000 円) 等を明記の上, e-mail にてお申し込み下さい。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は, 参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。
